



東京大学 情報基盤センター オンライン・チュートリアル

e-learning教材導入にあたって

平成16年12月9日

東京大学 情報基盤センター

図書館電子化部門 学術情報リテラシー係

飯塚 亜子



目次

- 概要
- コンテンツ
- 導入の理由
- 作業工程
- 利用状況
- 問題点
- 今後の課題

概要

- 情報リテラシー教育教材として、2004年8月にリリースしたe-learning 教材
オンライン情報検索方法＋図書館案内
- Flashを利用したアニメーションと音声ナレーションにより、学術情報収集の基本的スキルを解説
- 日本語・英語の2ヶ国語版
- 学内、学外問わず、24時間利用可能。

コンテンツ

6種×2言語＝計12コンテンツ

- 文献探しのお手軽ガイド 日:17分14秒 英:17分56秒
- データベース講習会
 - OPAC 編 日:16分43秒 英:18分11秒
 - FELIX 編 日:17分48秒 英:17分51秒
- 文献調査の基本的スキル 電子ジャーナル編
 - 基礎編 日:12分35秒 英:9分57秒
 - 応用編 日:14分06秒 英:13分08秒
 - 利用上の注意編 日:8分57秒 英:8分38秒



Online Tutorial - Netscape

Online Tutorial

オンライン・チュートリアル
Online Tutorial

文献調査の方法が自習形式で日本語・英語の音声ナレーション

<推奨環境について>

- ご覧になるには、最新版のFlash プラグインが必要です。お持ちでない方は下のバナーをクリックしてインストールしてください。
- ブラウザの設定で、「JavaScript」と「StyleSheet」を有効にしてください。
- ブラウザのインターネット セキュリティの設定で、「ActiveXコントロールとプラグインの実行」を有効にしてください。

<http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/dl/gacos/tutorial/>

Digital Library Division
Information Technology Center
The University of Tokyo

<日本語版>

- 文献探しのお手軽ガイド
文献探しのお手軽ガイド
- データベース講習会
OPAC編
データベース講習会シリーズ
OPAC編 本編
FELIX編
データベース講習会シリーズ
FELIX編 増補版
- 文献調査の達人を目指せ！
文献調査のための基本的スキル
電子ジャーナル

<英語版>

- Easy Guide to Document Searches
EASY GUIDE TO DOCUMENT SEARCH
- Database Training Course
OPAC Edition
DATABASE TRAINING COURSE
OPAC EDITION
FELIX Edition
DATABASE TRAINING COURSE
FELIX EDITION
- Become an expert at searching for documents!
Basic skills to conduct a document search
- ELECTRONIC JOURNALS, BASIC EDITION
- ELECTRONIC JOURNALS, APPLIED EDITION
- ELECTRONIC JOURNALS, INSTRUCTIONS AND DIRECTIONS FOR USE

<利用および著作権について>

- 当コンテンツの著作権は、東京大学情報基盤センターに帰属します。
- 当コンテンツへのリンクは自由に付なしていただいて構いませんが、リンク後に東京大学情報基盤センター学術情報リテラシー掛 (literacy@lib.u-tokyo.ac.jp) までお知らせいただければ幸いです。

東京大学情報基盤センター 学術情報リテラシー係



Online Tutorial
バナー

PRESENTER - Netscape

文献探しのお手軽ガイド

文献探しのお手軽ガイド

東京大学情報基盤センター
学術情報リテラシー係
E-Mail : literacy@lib.u-tokyo.ac.jp

文献探しのお手軽ガイド

PRESENTER - Netscape

Become an expert at searching for documents!
Basic skills to conduct a document search
Electronic journals, basic edition

Contents

1. What is an "electronic journals"?
2. Using electronic journals
3. Consulting an article
4. Browsing function
5. Instructions and directions for use

For those who want to learn more

When facing a problem...

Become an expert at searching for documents!
Basic skills to conduct a document search
Electronic journals, basic edition

Academic Information Literacy Section, Information Technology Center
The University of Tokyo
2004.4

メニュー
一覧

文字ナレーション

東京大学図書館事情

東京大学には、総合図書館・駒場図書館・柏図書館をはじめ、各学部や研究所に図書館、図書室があります。

それら55の図書館・図書室が「東京大学附属図書館」を構成しています。

東京大学全体では、約800万冊を超える蔵書を持つ、国内最大規模の大学図書館です。

総合図書館（本郷）

最初に“学術情報の収集・発信の場”である図書館をご紹介します。東京大学には、総合図書館、駒場図書館、柏図書館をはじめ、各局に図書館・図書室があります。それら55の図書館・図書室が「東京大学附属図書館」を構成しています。

東京大学図書館事情

東京大学には、総合図書館・駒場図書館・柏図書館をはじめ、各学部や研究所に図書館、図書室があります。

それら55の図書館・図書室が「東京大学附属図書館」を構成しています。

東京大学全体では、約800万冊を超える蔵書を持つ、国内最大規模の大学図書館です。

総合図書館（本郷）

最初に“学術情報の収集・発信の場”である図書館をご紹介します。東京大学には、総合図書館、駒場図書館、柏図書館をはじめ、各局に図書館・図書室があります。それら55の図書館・図書室が「東京大学附属図書館」を構成しています。

音声コントロール

拡大表示

導入の理由

■ 利便性

時間・場所的制約からの開放(いつでもどこでも)

遠隔キャンパスへの対応

留学生への対応

⇒利用者が必要なときに必要なインストラクションを享受できる環境づくり

■ 省力化

人的資源の減少

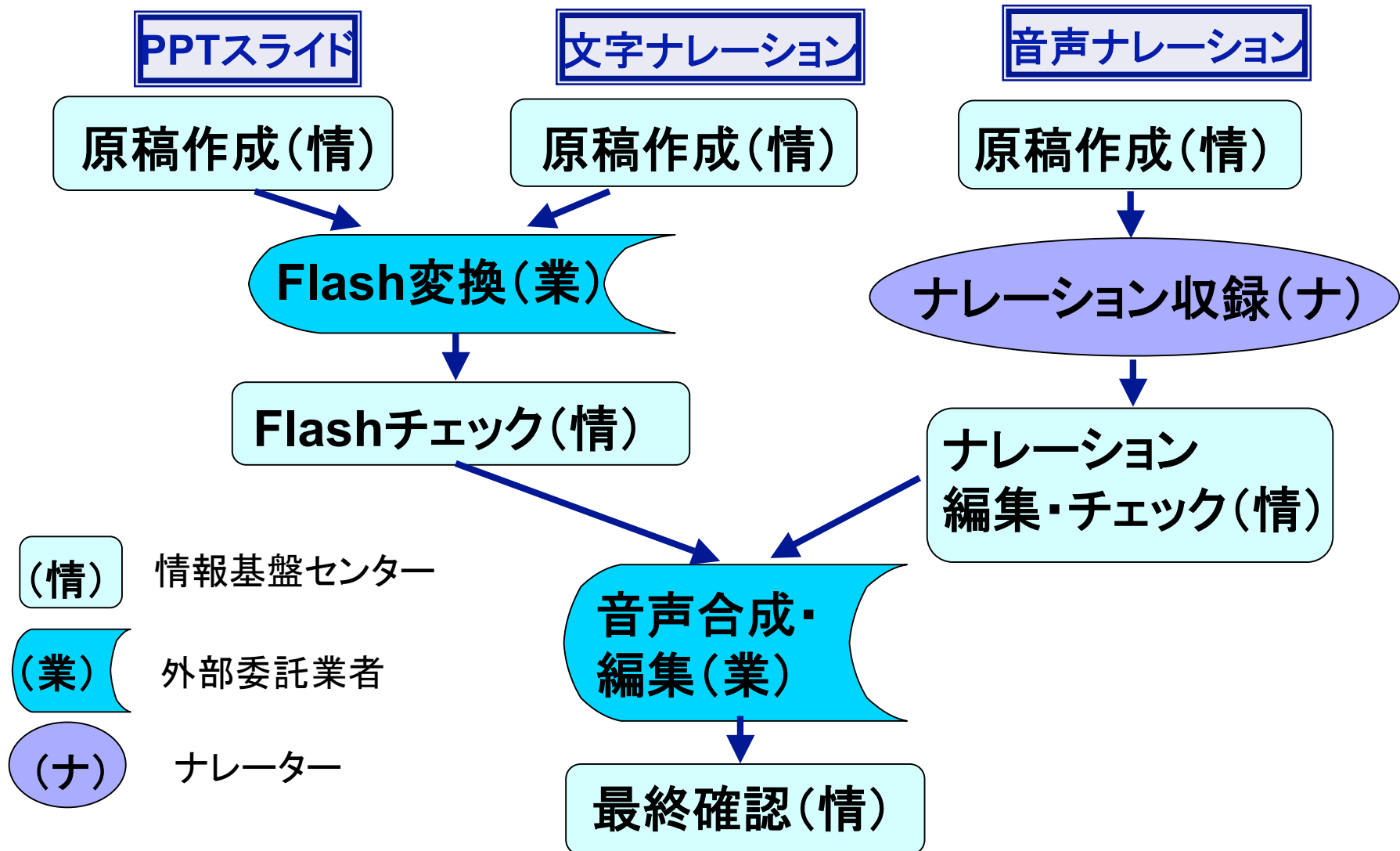
費用対効果

■ 基礎的情報リテラシー教育の必要性・潜在的需要の高まり

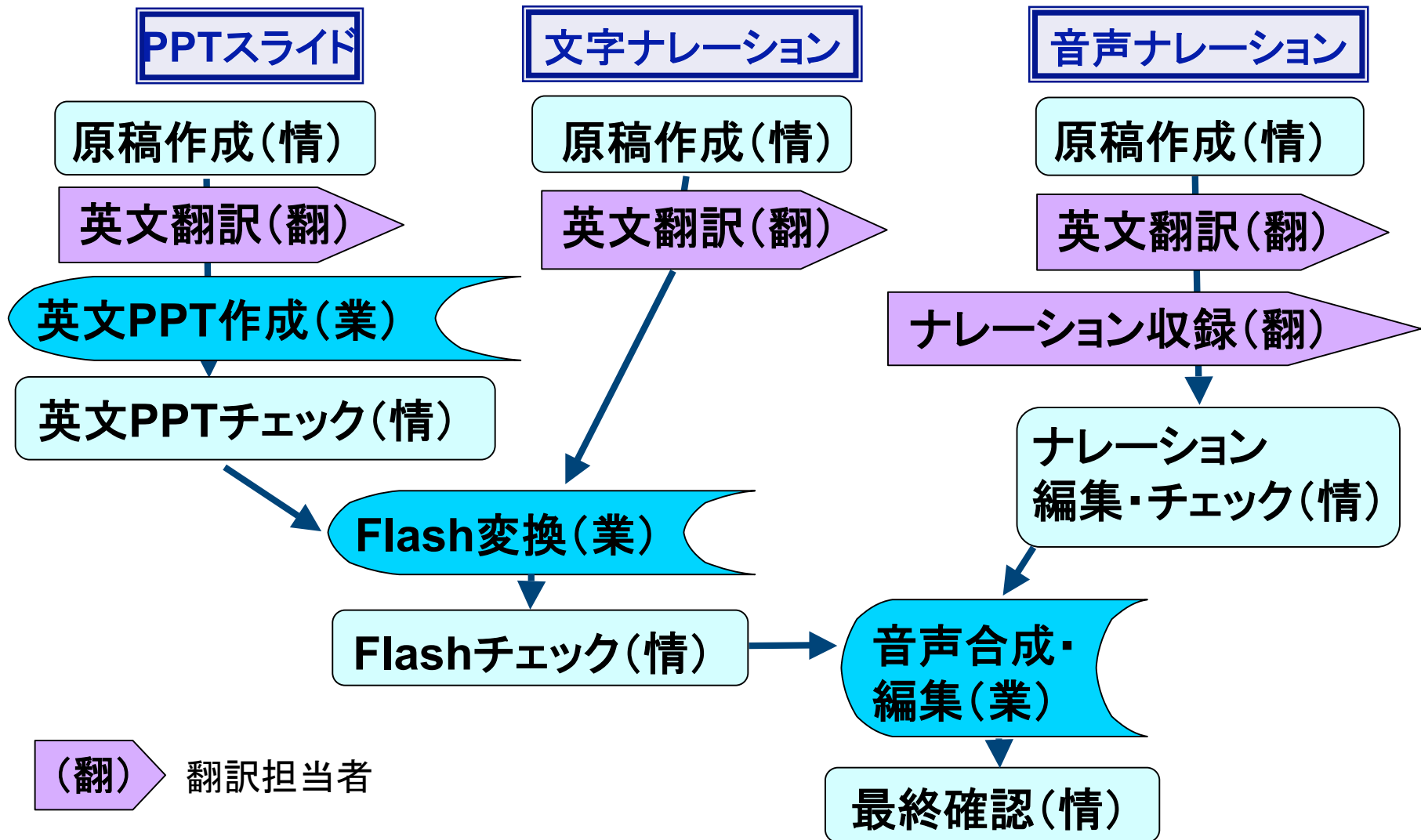
■ 利用者のインターネット利用度の上昇

Webコンテンツへの親しみやすさ

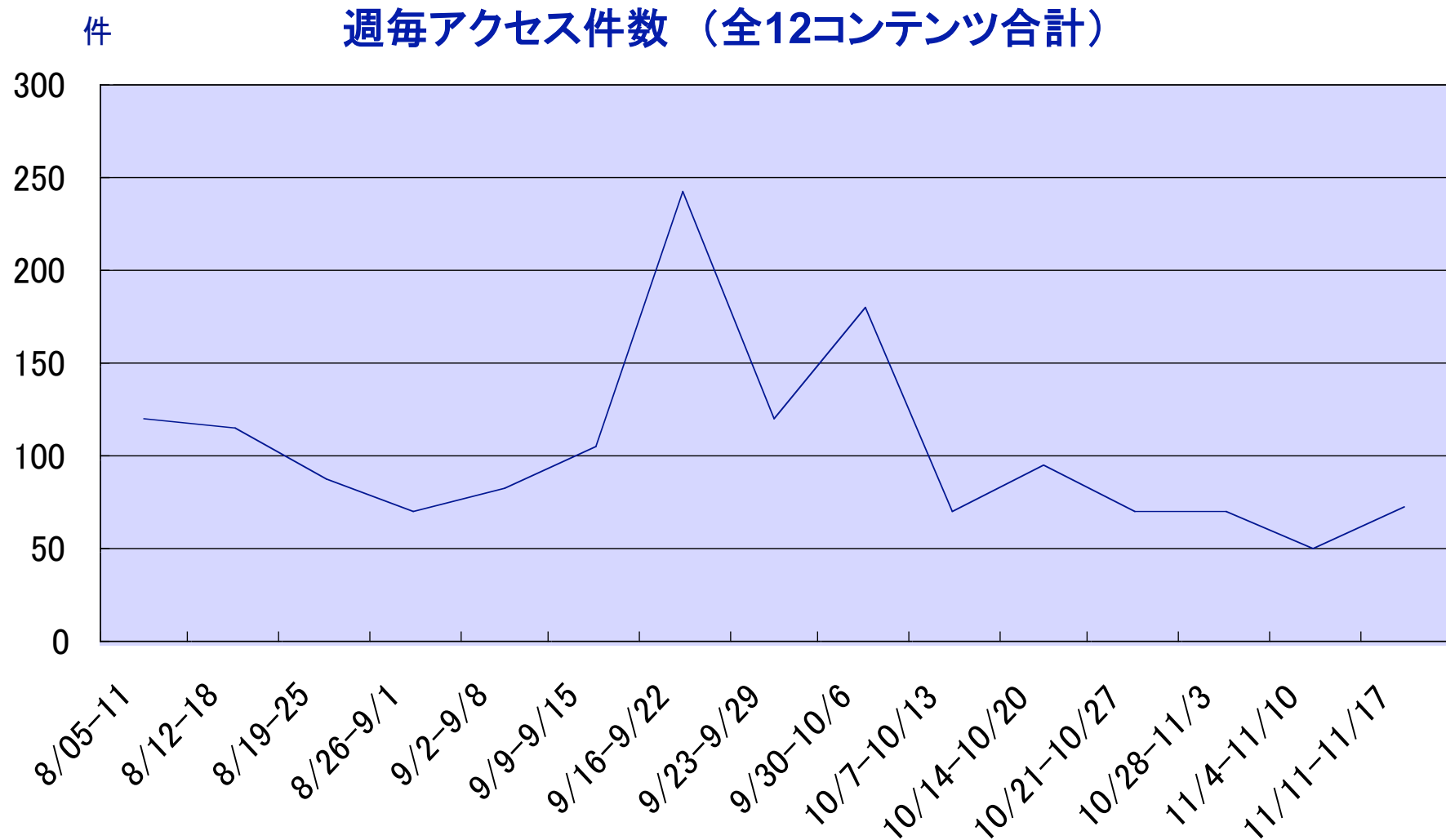
作業工程（日本語版）



作業工程(英語版)

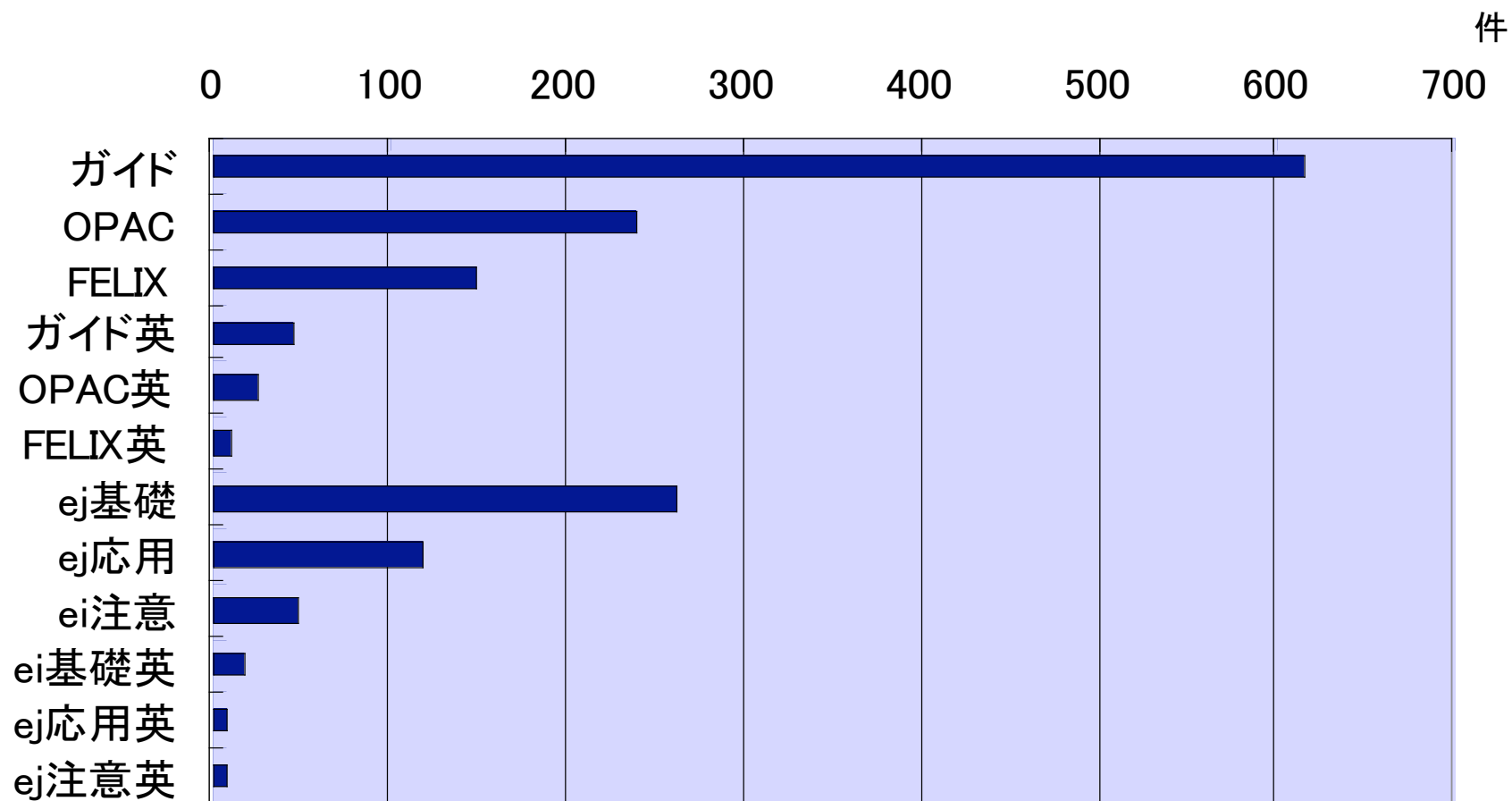


利用状況(1)



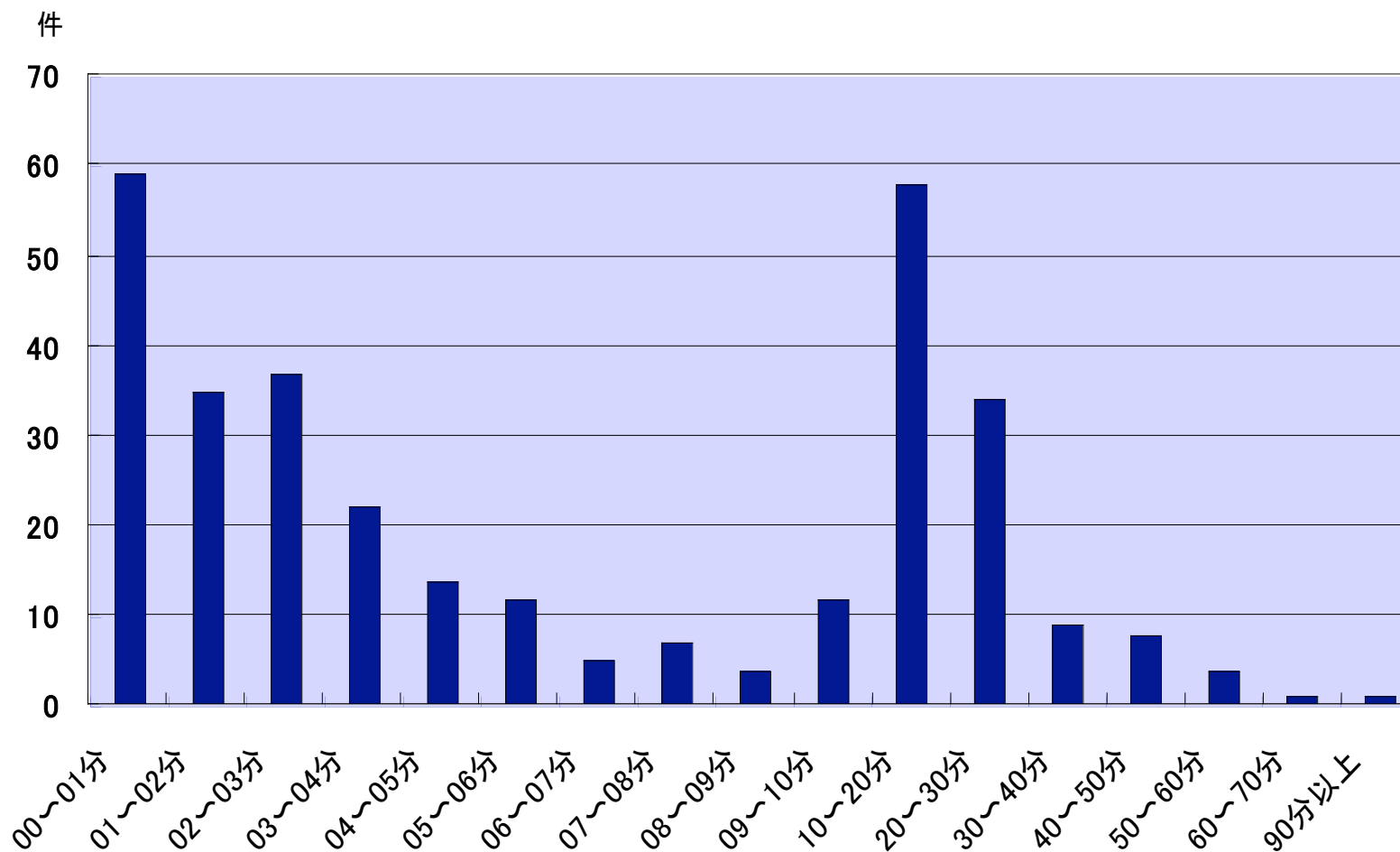
利用状況(2)

コンテンツ別アクセス件数 (2004/8/5 - 2004/11/17)



利用状況(3)

同一アクセスでの滞留時間 (“1アクセスのみ”をのぞく)





問題点

■ 利用度の伸び悩み

アクセス数

アクセス時間

■ コスト

外部業者・翻訳者・ナレーター・職員

作業量・時間

■ 利用環境

Flashが閲覧できない環境のユーザーに対しては？

今後の課題(1)～ オンライン・チュートリアルの見直し

■ コンテンツの充実

- 基礎的 新入生向け 多人数対象
- 専門分野別 専攻向け 少人数対象
- 科目、授業の補助教材

■ インタラクティブ(双方向)コンテンツへ

- 実習機能、テスト機能、対話機能の追加・充実

■ 教材作成ツールの導入＝自前での作成

- 修正・改訂に即応できる → Up to dateな教材の作成
- コスト削減

■ 評価体制の確立 ⇨ マーケティング 市場調査?

■ 広報活動

⇒ e-learning だからこそ
できることを最大限に

今後の課題(2)～情報リテラシー教材の見直し

- 紙かWebか？

- マニュアルか教科書か？

- 万人向けか個別対応的か？


どちらも万能ではない・どちらにも需要がある

→ 様々な手法の教材を用意して、利用者の
選択肢の幅を広げる = ハイブリッド方式

多様な学習スタイル、レベルへの対応

今後の課題(3)～情報リテラシー教育の見直し

- ツール指向⇒オブジェクト指向へ
特定の検索ツールの利用教育
⇒ 情報検索全般の理論・情報全般の組織化の教育
論文執筆法 ...etc.
- 教員・情報技術者・行政責任者との連携
単位認定 一般教養科目
- リテラシー教育担当者のスキルアップ
知識の習得＋教授法の習熟 ⇒ 利用者に評価される
大学に評価される
- 新しい学び環境の整備
My library 機能との連携など・・・ 図書館へ



ご清聴ありがとうございました
Thank you!!

東京大学 情報基盤センター
学術情報リテラシー係
literacy@lib.u-tokyo.ac.jp